



カンボジアの子どもたちに教科書を

2016年6月 No. 57

カンボジア便り

丸山 芳彦

～目次～

カンボジア便り	1～2
ボランティアさんの感想	3～4
スタッフ紹介	4
決算・予算報告	5
事務報告	6

支援校の卒業生の近況

2014年にNFEC(非正規識字学校)を卒業した生徒については、一人を除く全員が中学校に進学したことをニュースレター51号でお知らせいたしました。

その後の状況を知るため、今回現地スタッフのリティが子供たちとお母さん方にインタビューを実施しました。

その結果をまとめたのが下の表の「2016年5月現在」です。
ニュースレター51号で懸念した通り、残念ながら二人が退学、一人があまり学校に来なくて退学寸前という状況です。

しかし逆に残りの5人は表に見るように、それぞれのクラスでトップや上位の成績となっていて、我々がNFECを支援してきた成果があったと言えるのではないのでしょうか。

No.	氏名	2014年12月報告					2016年5月現在		
		性別	年齢	学年	両親の職業		学年	クラス内順位	苦手科目
					父	母			
1	Chok Sopheaktra	男	13	7	農業	農業	9	20/50	数学
2	Khorn Chamnab	男	12	7	農業	主婦	8	1/60	
3	Chok Sreylin	女	12	7	農業	農業	8	6/45	数学
4	Ni Saroth	男	13	7	農業	農業	退学(不良化)	-	
5	Sam Linu	男	13	7	ゴミ山拾い	ゴミ山拾い	出席率悪し	?	
6	Hourn Chetra	女	13	7	農業	農業	8	8/45	数学
7	Art Sreyroth	女	13	7	行方不明	農業	8	12/45	
8	Ty Savon	男	13	7	ゴミ山拾い	ゴミ山拾い	退学(経済的理由)	-	

今回インタビューできなかった3人について、他の子どもから聞き取りをした結果を記します。

Ni Saroth 君 今は何もせず、薬をやっている子とつるんで不良になった。こういったことは裕福な家庭にも起こっている問題で、カンボジアで大きな問題になっ

ている。

Ty Savon 君 経済的な問題で退学し、今は家で小物を売ったり小さい子どもの世話をする手伝いをしている。

Sam Linu 君 不良の子供とつきあっているようで学校に余り来なくなっている。



インタビュー風景(右がリティさん)

なお **2015 年度**の中学進学者と **2016 年**の進学予定者は下記の通りです。

2015年度中学進学者(2015年10月進学)						
No.	氏名	性別	年齢	学年	両親の職業	
					父	母
1	Keov Sokhom	男	15	7	農業	農業
2	Chea Chamnan	女	13	7	農業	主婦
3	Khorn Sambath	男	12	7	農業	教員

2016年度中学進学予定者						
No.	氏名	性別	年齢	学年	両親の職業	
					父	母
1	Chay Piseth	男	14	NFEC	死亡	工事作業員
2	Det Sreyne	女	13	NFEC	工事作業員	主婦
3	Ning Sreykhuoch	女	13	NFEC	工事作業員	農業
4	Nhuornh Naren	女	12	NFEC	工事作業員	主婦
5	Ra Sreynoch	女	12	NFEC	工事作業員	ゴミ山拾い
6	Roeun Chanda	女	13	NFEC	軍人	主婦
7	Heap Sreyneat	女	13	NFEC	工事作業員	工場作業員



先生方の負担で
中古の黒板を購入
しました。

ボランティアさんの感想

ボランティア初体験！！

～文京国際交流フェスタ・広報ブーススタッフ～

会社員(40代) 水谷充徳

2月20日文京区国際交流フェスタのボランティアに参加しました。

今回ボランティアに参加したきっかけですが、会社の後輩にちょっと今までと全く違うことがしたいと相談しました。そこで後輩からボランティアをしてみたらとアドバイスを受け、このたび参加することになりました。ただ、申し込みをするところからとても緊張し、不安いっぱいでした。

ボランティア当日も最寄り駅に近づくにつれて緊張が増してきました。久々の緊張感、今まで忘れかけていた初心の気持ちを思い起こすことが出来ました。そして待ち合わせ場所に着いた時、幸いにもとても入りやすい雰囲気の中で、参加することが出来ました。



開始時刻も迫り、鋭意準備中です。

当日、会場の文京国際交流フェスタでは、グループ単位に分かれ、韓国茶を出したり、他ブースを見たり、来場者に日韓アジア基金の説明資料を渡したり、とても良い時間を過ごすことが出来ました。終わった後、反省会があり、人の配置、机の配置、今回参加した団体の詳細について意見交換がなされました。とても活発で、真剣に皆の意見を取り入れようとしているところは、大変良かったです。

また終了後、食事会にも参加することができ、いろいろと話を聞くことができました。

NGO団体がボランティア活動が続けていくためには、新しく参加する人をいかに参加しやすくするか、次も来てもらえるためにはどうしたらよいか、ボランティアを募集した団体、グループが、普段何をしているのか、などなど学んだことは、自分にとっても大切なことでありました。ボランティアを企画する側、参加する側の気持ちが、一体とならないとうまく行かないこともよくわかりました。とても有意義な一日を過ごすことが出来て、大変良かったです。

最後にボランティア参加に背中を押してくれた会社の後輩、今回のボランティアに参加して暖かく迎えてくれたみなさん、そして大澤さんに感謝しております。今後もいろいろなボランティアを探して参加して、自分の視野を広げ、無理なく

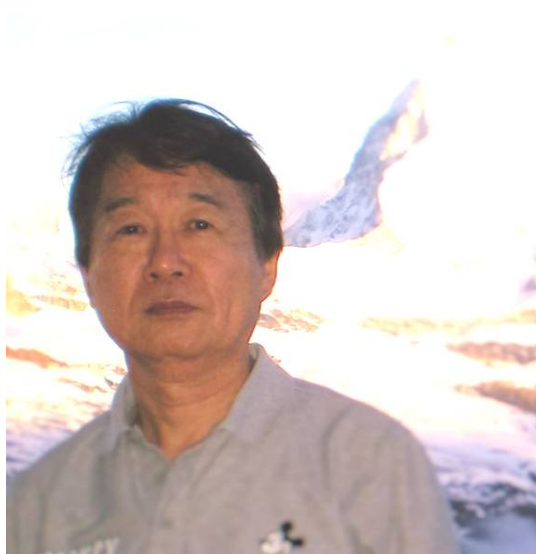
ボランティアを通して何事も素直に受け入れ、継続していきたいと考えております。本当にありがとうございました。



終了後降り出した雨の中、イベント資材を ABK に運んで
ホットしたところです。一日お疲れさまでした。

新スタッフ紹介

丸山 芳彦



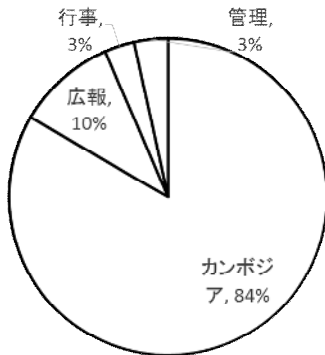
はじめまして。5月から現地スタッフ Rithy さんとの連絡係として活動を始めた丸山芳彦です。当会理事の大澤さんとは奇なる縁で、学校及び会社の後輩になります。

昨年末に勤めていた会社を退職しました。トラック開発のエンジニアとして約 20 年、その後の 20 数年は海外マーケティングを担当し、世界中を飛び回っておりました。尊敬する大澤さんに誘われたこともありましたが、海外への恩返しになればと思い、この日韓アジア基金に参加しました。他には、大和市の日本語支援スタッフになるべく、20 回の講習会に参加している最中です。皆さま

宜しくお願いいたします。

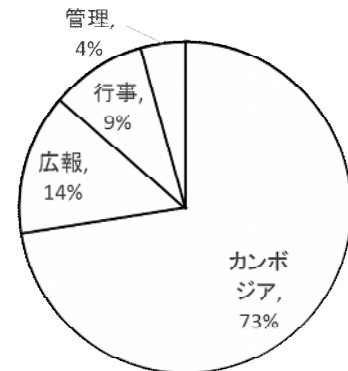
お金の使い途を中心にした決算報告と予算

2015年度支出 (2015年1月～12月) 総額116万円



日本

2016年度予算 (2016年1月～12月) 総額83万円

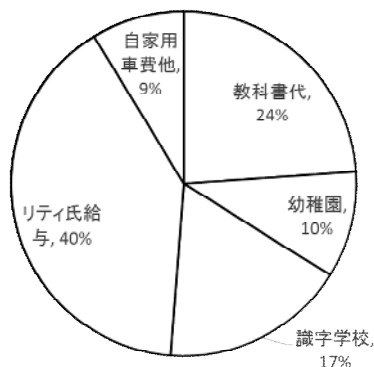


- ・広報費は、ニュースレターの印刷・送料と外部イベントへのブース出展費用が主なものです。
- ・行事費はビビンの会の開催経費で、参加会費の余分は当会への寄付とさせて頂いています。
- ・管理費は通信費・消耗品費・印刷費です。

- ・総予算が昨年度より大幅に減っているのはリティ氏の給与を従来の 300 ドル/月から 100 ドル/月にしたためです。
- ・行事費は、ビビンの会の年 2 回の開催費です。これは会費との相殺を予定しています。また余分が出た時は差額を寄付とします。
- ・他はほぼ前年度並みと考えています。

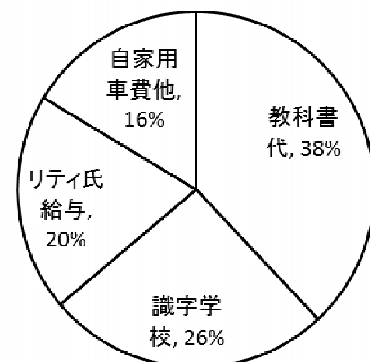
支出に占める管理費の割合が、3%と非常に低い値になっています。これは国内スタッフが全員ボランティアで、人件費及び交通費等が零であること及び事務所経費が貸主であるアジア文化会館様のご好意で無料であるという特殊事情によります。

2015年度支出 (2015年1月～12月) 総額8,921ドル



カンボジア

2016年度予算 (2016年1月～12月) 総額6,060ドル



- ・教科書は、11校に総計 1,338 冊 2,144 ドルの支援をしました。
- ・幼稚園支援の内容は教員給与 250 ドル、Tuk Tuk 運行費 585 ドル。
- ・識字学校は教員の給与 1,320 ドル、家賃 240 ドル。
- ・自家用車は燃料代 600 ドルが主なものです。

- ・リティ氏の給与は 100 ドル/月です。これは従来より 200 ドル/月の減額です。
- ・教科書支援はクメール語のみで 2,000 ドルを見込んでいます。

カンボジアでは、独立した事務所を持たず、日本との連絡はインターネットカフェで行っていることで、管理費が大幅に低減しています。節減額は過去の実績から年間 2 千ドルと見込んでいます。これは現地スタッフのリティ氏の努力に負うところが大きいです。

本年 6 月 30 日を以て認定 NPO 法人の資格が失われ

7 月 1 日以降の当会へのご寄付・賛助会費は税制優遇が受けられなくなります。
ご迷惑をお掛けし誠に申し訳ございません。

当会は 2011 年 6 月に国税庁より税制優遇を受けられる NPO 法人として認定を受けました。
この資格の期限が本年 6 月 30 日です。

これ以降は東京都の認定を受けることが必要で、2 月末に審査があり残念ながら合格できませんでした。

不合格の理由：規定の中に「会計処理は青色申告法人と同等のものであること」があり、
当会の会計処理の一部にこれから外れるものがあつたためです。

2015 年度年次総会のご報告

表題の件、3 月 19 日にアジア文化会館にて開催し、予定の議題は全て承認されました。

当会イベントにボランティアスタッフとして参加下さった方(敬称略・五十音順)

2016 年 2 月 20 日 文京国際フェスタ・広報ブーススタッフ

赤坂菜々子・稲垣瑞恵・井濱沙織・大野勝弘・姜雷・近藤紗央・志岐まどか・
須崎くらら・廣嶋佑香・福島未来・水谷充徳・リジヒョン・渡邊みなみ (13 名)

2016 年 3 月 6 日 ニュースレター56号 発送作業

稲垣瑞恵・井濱沙織・大野勝弘・甲斐正彰・角田結美・久慈立朗・千葉まゆみ・作道雅子・
永田しのぶ・永田優・新山美樹・西川裕貴・星野廣平・水谷充徳・柳瀬智子・山崎久美子・
若松晴美・和田 実佐子
(18 名)

2016 年 2 月 27 日～2016 年 5 月 12 日に会費・ご寄付を下された方 (敬称略・五十音順)

五十嵐 安雄	大坪 玲子	菊池 貞子	長島 和子	堀川 泰義	満井 啓二
磯尾 彊一	片岡 彩子	小林 栄次郎	西澤 純	松井 ふみ子	山根 寛
遠藤 保弘	加留部 南洋	田角 亜里沙	平塚 千尋	松田 明美	
大塚 紀子	神戸 博子	佃 吉一	藤井 陽子	松本 昌幸	

<お問合せ先> (日本語でお願いします)

〒113-0021 東京都文京区本駒込 2 - 12 - 13 アジア文化会館(A B K)内
T e l : 090-4456-2942(庶務・会計担当 大澤) FAX : 03-3946-7599(A B K)
E-メール : jkaf@iloveasia2.sakura.ne.jp
HP: <http://www.iloveasiafund.com>

発行人 特定非営利活動法人 日韓アジア基金・日本 代表理事 江本 哲也